

ミッドワイフトーク

ホーム
ページ版
Vol.14

助産師だより

令和6年3月 第25号
公益社団法人栃木県看護協会
宇都宮市駒生町 3337-1 とちぎ健康の森4F
TEL 028-625-6141
発行責任者 朝野 春美

ごあいさつ

助産師職能委員長 田中 純

会員の皆様、そして栃木県の助産師の皆様、日頃より栃木県看護協会の活動にご協力いただき深く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の脅威が少しずつ緩和し、母子を取り巻く環境も日常を取り戻しつつあります。しかし、コロナ禍の育児環境の変化が及ぼした影響は大きく、今後もますます助産師の活躍は期待されております。また、今年初めには能登半島地震があり、被災地では寄り添う助産師の姿がありました。助産師の災害対応力について皆さんが課題とされたと思います。

栃木県助産師職能委員会は、県内の助産師の輪が広がるよう、昨年からはホームページに『助産師のつぶやき』の掲載を開始し、現在までに5名の方のつぶやきをご紹介いたしました。今後も、助産師のあたたかいリレーが続き、皆様のご活躍を紹介していきたいと考えております。この『ミッドワイフトーク』には、施設紹介も継続して掲載し施設での助産師の活動を紹介しております。ぜひ、ご覧いただき県内の助産師の活躍を皆さんと応援できればと思います。

今後も、栃木県内の助産師の輪が広がり、助産師として生き生きと働けるように助産師職能委員会は活動していきます。皆様からの多くの声をお待ちしております。



！掲載記事募集！

栃木県看護協会ホームページから
助産師職能委員会宛にお送りください。
<http://www.t-kango.or.jp/>

委員会活動

産科従事者研修会・交流集会

令和6年1月27日（土） 29名

「危機管理・災害対策」をテーマとして開催いたしました。今年は年明けに能登半島地震がありました。研修では、栃木県危機管理課職員の方から災害時の対応をお聞きし、災害をより身近なものとしてとらえる機会になりました。県内でご活躍されている産科従事者の方々に数多くご参加いただき、赤ちゃんとお母さんの防災について考え有意義な交流集会になりました。（県の委託事業として開催）



新人助産師研修（前期） 令和5年9月15日（金）
乳房ケア、母乳育児支援 39名

乳房のしくみや母乳の利点を復習し、実践に活かせるケアや支援を学ぶことができました。お互いに指導し合う演習で、交流が深まりました。



新人助産師研修（後期）
令和6年2月16日（金）
ハンドケア 27名

お互いに演習しあい、ハンドケアの効能を実感しました。活発な情報共有もでき、学びと共に癒される時間になりました。

前期と後期、どちらとも参加していただいた方が多くいました。授産技術を学びつつ、情報交換の場を通してお互いの成長も感じられる研修になっていました。



施設紹介

佐野厚生総合病院



今年度から地域周産期母子医療センターとなり、産後ケア事業も開始しました。佐野市内在住の方に日帰りで産後ケアを実施し、数多くの方にご利用頂いています。また母乳外来でも、乳腺炎や母乳育児相談、卒乳など幅広いご相談を受け付け、経験豊富な助産師が対応しています。お産に関しては、「立ち会い分娩」を再開し、赤ちゃん誕生の喜びをご夫婦で共有できる環境を整えています。



「お母さんと赤ちゃんに寄り添ったあたたかいケアをめざして」

私たち助産師は病院の理念である「地域に寄り添い信頼される病院」を目指し、「お母さんと赤ちゃんに寄り添ったケア」を心がけています。

産後は乳房マッサージ指導や退院指導なども、退院後の生活をサポートできる内容となっています。そして助産師が行う「産後2週間健診」でご家庭での様子を伺い、安心して過ごせるよう継続的なケアを実施しています。



助産師一同
これからも
愛にあふれた
ケアで
皆様のお役に
立てるよう
努力して
まいります。

佐野厚生総合病院でお待ちしています

